

教員免許更新講習(選択領域)認定セミナー\*

2011年度  
桐朋学園大学音楽学部

# ピアノ総合講座

ーピアノに関するアラカルトー

2011年8月26日(金)~28日(日)

\* 教員免許更新講習対象外の方も参加できます。

## 申込要項

学校の授業においてもコーラスの伴奏等にもピアノは必需品である。また、大型楽器にも関わらず、家庭への普及率は大変高い。今回の講座ではこのピアノに焦点をあて、歴史、構造、管理、独奏、伴奏、教育、の各分野を本学教授及び実績ある専門家を迎え、研修していく。チェンバロに触れる講座や受講生有志による公開レッスン、ジャズピアノに挑戦するといった実習も企画している。誰にとっても身近だが、多くの人は実は深くは知らないピアノについて、今回は授業の教材として、或いは教養として総合的に学べる内容となっている。

### ■ 受講対象区分

<b>【A】</b>	教員免許状更新を目的とし、教員免許更新講習として受講する 小学校教諭 および 中学校・高等学校教諭（教科：音楽） ----- 平成23年度の受講対象は、平成25年3月31日までに修了確認期限をむかえる方で生年月日は以下のとおりです。 昭和31年(1956年)4月2日～昭和33年(1958年)4月1日生 昭和41年(1966年)4月2日～昭和43年(1968年)4月1日生 昭和51年(1976年)4月2日～昭和53年(1978年)4月1日生	定員 40名
<b>【B】</b>	<b>【A】</b> にあてはまらない教育関係者 一般の参加者等	

※ 申込者多数の場合は、抽選で受講予定者を決定します。

■ 講習日程 2011年8月26日(金)～28日(日)〔時間数：18時間〕

■ 講習会場 桐朋学園音楽部門〔京王線・仙川駅下車 徒歩5分〕

### ■ 受講料

1.	受講対象【A】および【B】	3日間〔8/26～8/28〕	20,000円
2.	受講対象【B】のみ	2日間〔8/27～8/28〕	14,000円

※ 受講料の返還について受講料納入後、7/30までに受講取消の申し出があった場合は、受講料を返還します。

■ 受講申込受付期間 2011年5月17日(火)～6月30日(木) (郵送必着)

■ 受講申込提出書類 ①受講申込書 ②受講者事前アンケート ③ピアノ公開レッスン申込書  
【A】教員免許更新講習受講者のみ 希望者のみ

・「受講申込書」と「受講者事前アンケート」「ピアノ公開レッスン申込書」を裏表紙の下部に記載されている「教員免許更新講習認定セミナー係」宛に郵送してください。

・上記の書類は本学のホームページからPDFファイルでダウンロードができます。

<http://www.tohomusic.ac.jp/collegeSite/Menkyo.html>

■ 修了認定について (受講対象区分【A】での受講者のみ)

受講対象区分【A】「教員免許更新講習としての受講者」は、講習最後の試験を必ず受験してください。また、定められた18時間を受講しなければ、履修認定がされませんので注意してください。試験合格者には9月10日付で『履修証明書』を発行し、送付いたします。

# 受講申込書の記入方法について

2011年度 桐朋学園大学 夏期セミナー  
① 受講申込書

氏名 (印簿の写で転記) 学年(月日) 性別

連絡先 電話番号 携帯番号 E-mail

受講希望日数 (希望に○をつける) 受講対象区分 (該当に○をつける)

1 (3日間 / ¥ 20,000) 2 (2日間 / ¥ 14,000)

受講対象: [A] 教員免許更新講習として受講

所持する免許状について記入してください。

免許状の種類	教科	終了確認書類、有効期間の満了の年月日
		平成 年 月 日
		平成 年 月 日
		平成 年 月 日

証明者印

※ 太枠内に必要事項を記入します

**氏名**  
戸籍名を楷書で記してください。

**写真**  
・正面上半身脱帽  
・背景のないもの  
・3ヶ月以内に撮影したもの

**連絡先**  
受講証等の返送先になります。  
正確に記入してください。

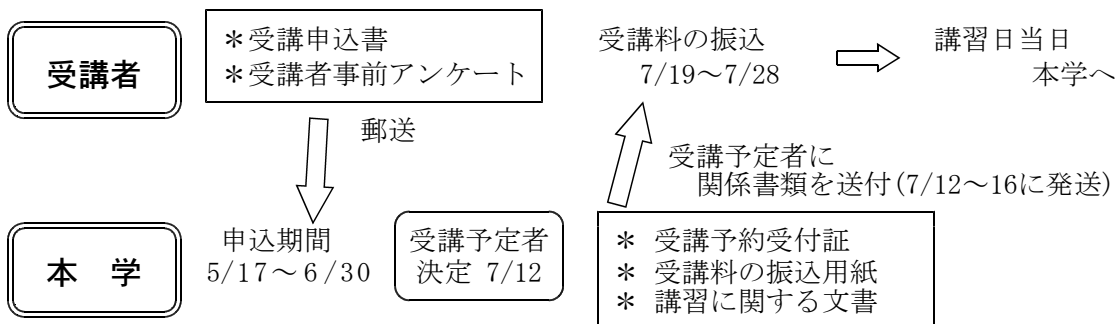
**受講希望日数**  
1. 2. どちらかに○をつけます。

以下は「教員免許更新講習」として受講する方のみ記入します。

**免許状に関して**  
所持する免許状の書き方については  
申込書の裏面を参照してください。

**証明者印**  
印が押されているか必ず確認してください。

## 申込みの流れ



受講申込 (郵送のみ)	5月17日(火)～6月30日(木)
受講予定者決定	7月12日(火) ※1
受講予定者への通知	7月12日(火)～7月16日(土) ※2
受講料の振込期間	7月19日(火)～7月28日(木)
講習当日受付	各講習日 8:45～9:00

※1  
申込者多数の場合等は、更新講習対象者を優先し、抽選で受講予定者を決定します。

※2  
受講予定者に関係書類を発送します。申込者多数で抽選にもれた方には郵送で結果を通知します。

- 【注意事項】**
- ・自然災害、交通機関の事故等のほか、本学の都合により講習を中止する場合があります。事前に中止が判明した場合は 本学のホームページでお知らせします。
  - ・貴重品の取り扱いには十分注意してください。
  - ・校内は駐車禁止です。電車・バスをご利用ください。
  - ・宿泊の手配は各自でお願いします。
  - ・会場として指定された教室以外には立ち入らないでください。

# 講習内容および時間割

## ■ 担当講師

高柳 登	(調律師)
辻井 雅子	(ピアノ/公益財団法人日本ピアノ教育連盟理事)
山中 千尋	(ピアノ/作曲家/アレンジャー/プロデューサー)
西原 稔	(本学教授-音楽学)
玉置 善己	(本学教授-ピアノ)
三上 桂子	(本学教授-ピアノ)
渡邊 順生	(本学非常勤講師-チェンバロ・フォルテピアノ)
玉川 裕子	(本学非常勤講師-独語・音楽文化史)
森山 智宏	(本学非常勤講師-ソルフェージュ・音楽理論)

※ 講師プロフィールは P. 4～ に掲載しています。

## ■ 講習予定

**8月26日 (金)** ※ 8:45までに受付をすませてください。

9:00	9:30	12:00	13:00	16:00
①	②	休憩	③	

- ① オリエンテーション・学部長挨拶
- ② 鍵盤楽器の歴史・チェンバロ等の解説・演奏 (担当: 渡邊)
- ③ ピアノの構造等の解説 (打鍵模型及び映像使用)  
ピアノの調律・管理等の解説・実践 (担当: 高柳)

**8月27日 (土)**

9:00	9:15	11:00	11:10	12:10	13:10	14:50	15:00	16:30
④	⑤	⑥	休憩	⑦	⑧			

- ④ オリエンテーション
- ⑤ ピアノ曲の解説・19世紀のピアノ音楽 (担当: 西原)
- ⑥ ピアノ曲の分析及び解説 (ショパンについて) (担当: 森山)
- ⑦ ピアノ公開レッスン〈1〉 (担当: 玉置)  
「課題: ショパンの作品」
- ⑧ ピアノ公開レッスン〈2〉 (担当: 三上)  
アンサンブルにおけるピアノ奏法  
「課題: ベートーヴェン: ヴァイオリン・ソナタ第5番へ長調 Op. 24」 \*楽譜: ヘンレ版使用

【注】・ピアノ公開レッスン〈1〉〈2〉について  
受講者の中から演奏していただく方を募集します。同封の申込書にて事前にお申し込みください。  
希望多数の場合は調整させていただきます。  
・ピアノ公開レッスン〈2〉アンサンブルのヴァイオリニストは学校側で手配します。  
事前にアンサンブルの合わせ・練習等はありませんのでご了承ください。

**8月28日 (日)**

9:00	9:10	10:30	10:40	12:30	13:30	15:10	16:00	17:00
⑨	⑩	⑪	休憩	⑫	⑬	⑭		

- ⑨ オリエンテーション
- ⑩ 世界のピアノ教育の紹介 (担当: 玉川)
- ⑪ ジャズ・スタンダードピアノに関する講義と演奏 (担当: 山中)
- ⑫ 児童・生徒へのピアノ指導について (担当: 辻井)
- ⑬ 演奏会 (公開レッスン受講者・学生等)
- ⑭ 試験 (更新講習受講者) … **【試験方法】** 筆記試験

## 講師プロフィール(1)

### 高柳 登 [調律師]

1948年静岡生まれ。カワイピアノアカデミーにてピアノの調律技術を修得。その後ピアノのアフターサービスに従事。1978年よりグランドピアノ工場にて、音づくり中心にピアノづくり全般にかかわる。とりわけコンサートピアノ製造については、設計、メカニズムの調整、整音まで、すべての工程を手がける。1989年から2年間、ヨーロッパにて技術を研鑽。マルタ・アルゲリッチ、ルドルフ・ブッフビンダー他、数多くの演奏家のコンサート調律を経験。シュツットガルトのマティス社、ロルフ・ミールバイヤー氏、イタリアのペスカーラ、アンジェロ・ファブリーニ氏の下で研鑽を積み、彼らからヨーロッパの音づくりにおける大きな影響を受ける。その後、数多くの国際コンクールや音楽祭、レコーディングに、自らが手がけたピアノを持ち込んで挑戦。とりわけピアノ国際コンクールにおいては、過去9回の優勝者に使用された。2002年、宮地楽器に移籍し、スタインウェイ、ベーゼンドルファー、ベヒシュタインなど、世界の名器の調整に携わり、宮地の音をつくり上げてきた。

### 辻井 雅子 [ピアノ・公益財団法人日本ピアノ教育連盟理事]

石川県七尾市出身。桐朋女子高等学校音楽科を経て、1963年桐朋学園大学音楽学部ピアノ科を卒業。川崎 敏、佐々木七千枝、田村 宏、寺西昭子各氏に師事。幼児の初期導入から専門コースへの基礎的段階での指導に多くの実績を積んでおり、国内外のコンクールで1位をはじめとする入賞者や国際的なピアニストなど、現在活躍中の多数の門下生を輩出している。本を読むより井戸端でのおしゃべりが好き、料理はグルメよりは惣菜と言う。基礎力の無さから苦勞した音楽学校生時代を振り返って、今では「下手から出発したことが財産!」、「ピアノは弾くことではなく、考えること。だから、他のことにも通じるよ」と、子供たちの実生活に結びつけて、やる気を起こさせる指導法には定評がある。音楽雑誌「ムジカノヴァ」にて、故頼近美津子氏と「音楽教育について」の対談を行ない、また「ピアノレッスン基礎の基礎」を執筆した。公益財団法人日本ピアノ教育連盟主催の全国研究大会では2年にわたってTeachersフォーラムのパネラーを務め、分かりやすい公開レッスンを含めてのピアノ指導、三人の子育て、さらには自他ともに認める“よろず相談所長”を通しての様々なエピソードを交えての講演は各地で好評を博している。現在、桐朋学園大学音楽学部「ピアノ実技指導法」特別講師、桐朋学園大学音楽学部附属子供のための音楽教室ピアノ科講師、公益財団法人日本ピアノ教育連盟理事、課題曲委員会副委員長、オーディション委員会副委員長・審査主任、社団法人全国ピアノ指導者協会ピティナコンペティション審査委員長、石川県NOTOピアノコンクール実行委員会委員長、石川県NOTOこどもミュージックセミナー実行委員会委員長、能登ピアノレスナー会顧問、ヤングピアニストを育てる会代表、子供たちの将来のために今できることをする会代表。

### 山中 千尋 [ピアノ/作曲家/アレンジャー/プロデューサー]

桐朋女子高校音楽科、桐朋学園大学音楽学部演奏学科（ピアノ専攻）を経て米国バークリー音楽大学に留学。在学中より幾多の賞を受賞し、数多くの有名アーティストと共演を重ねる。IAJE主催シスターインジャズコンペティション優勝、ベティーカータージャズアヘッドに参加、マーシャルソラールピアノコンペティションでセミファイナリスト、全米グレートピアノコンペティションファイナリスト。バークリー音楽大学を首席で卒業後、文化庁派遣芸術家在外研修員として一年間、アメリカでさらに研鑽を重ねる。ニューヨークを中心に世界各地で活動をし、ニューヨークブルーノート、バードランド、イリディウム等の名門ジャズクラブはじめ、米NBCラジオ、カーネギーホールJVCジャズフェスティバル、ウィーン国立歌劇場へ出演。2008年『Abyss』がスイングジャーナル誌ジャズディスク大賞「日本ジャズ賞」を受賞、2009年3月、『After Hours』が「第23回 日本ゴールドディスク大賞 <ジャズ・アルバム・オブ・ザ・イヤー>」を受賞。ニューヨークのトップ・ピアニスト10人の共演で開催される「コンコードスペシャル 100 GOLD FINGERS」に参加。2010年は2月のロシア～ヨーロッパ・ツアーをはじめ、ニューヨーク、日本と世界各地で自己のトリオによるライブ活動を展開。9月には「東京JAZZ2010」においてテリ・リン・キャリントンの「モザイク・プロジェクト」にスペシャル・ゲストとして参加、またピアノ・トリオ作品としては2年ぶりとなる新作『Forever Begins』を発表する。アルバムの発売を受け、10月にはヨーロッパ、11月末からは日本でコンサートツアーを開催。2011年5月、Deccaレーベルより初の日本人ジャズピアニストとして、アルバムを全米リリースされる。同時にヨーロッパ各国でもアルバムを発表。7月のウンブリアジャズフェスティバルにてハービーハンコック、ウエインショーター、マーカスマラーのオープニング演奏。2012年には東京フィルハーモニー交響楽団とガーシュウィンの共演を予定。ニューヨーク在住。

### 西原 稔 [本学教授・音楽学]

山形県生まれ。東京藝術大学大学院博士課程満期修了。現在、桐朋学園大学音楽学部教授、音楽学部学部長。18,19世紀を主対象に音楽社会史や音楽思想史を専攻。「音楽家の社会史」、「聖なるイメージの音楽」（以上、音楽之友社）、「ピアノの誕生」（講談社）、「楽聖ベートーヴェンの誕生」（平凡社）、「クラシック 名曲を生んだ恋物語」（講談社）、「音楽史ほんとうの話」、「ブラームス」（音楽之友社）、「クラシックでわかる世界史」（アルテスパブリッシング）、「ピアノ大陸ヨーロッパ」（アルテスパブリッシング）などの著書のほかに、共著・共編で「ベートーヴェン事典」（東京書籍）、翻訳で「魔笛とウィーン」（平凡社）、監訳・共訳で「ルル」、「金色のソナタ」（以上、音楽之友社）「オペラ事典」、「ベートーヴェン事典」（以上、平凡社）などがある。

## 講師プロフィール(2)

### 玉置善己 [本学教授・ピアノ]

高校より桐朋学園で学び、1971年桐朋学園大学音楽学部卒業。音楽賞を受賞。72年、日本演奏連盟推薦新人演奏会で東京フィルハーモニー交響楽団と共演。その後、東京・福岡・盛岡など各地でリサイタルを開催した。東京交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新星日本交響楽団、桐朋学園オーケストラなどと共演。75年から78年までヴァイオリニスト江藤俊哉氏の伴奏者として、全国各地で演奏のほか、声楽の伴奏や、ヴァイオリンとの二重奏を中心に、多くの演奏会及びNHK・FMに出演している。最近では、2008年9月・10月に、福岡・軽井沢・新潟・東京でリサイタルを開催し、好評を博した。日本音楽コンクール、全日本学生コンクールをはじめ数々のコンクールの審査員を務めている。

### 三上桂子 [本学教授・ピアノ]

桐朋学園音楽科にて井口秋子氏、パリ音楽院にてV. ペルルミュテール氏、ニューヨークのジュリアード音楽院にてS. ゴロニツキー氏に師事。このほか室内楽をA. パルサム、F. ガリミア、およびJ. フックスの各氏に学ぶ。NHK・毎日新聞社共催の第18回全日本学生音楽コンクール第1位、第34回日本音楽コンクール第1位、同主催、海外派遣コンクール安宅賞受賞。1978年、ニューヨークのカーネギー・リサイタルホールでのデビュー以来、リサイタル、協奏曲、室内楽、録音等、アメリカ、ヨーロッパ、日本各地で演奏活動を行っている。2004年はチェコのプラハ、2005～2009年はドイツのライプツイヒ、2010年はオーストリアのウィーンでのフェスティバルにアーティスト、講師として招かれている。現在、桐朋学園大学ピアノ科主任教授。

### 渡邊順生 [本学非常勤講師・チェンバロ・フォルテピアノ]

1950年4月29日、神奈川県・鎌倉生まれ。ピアノを宅孝二、チェンバロを小林道夫らに師事。1973年、一橋大学社会学部卒業と同時にオランダへ留学、アムステルダム音楽院にてチェンバロをグスタフ・レオンハルトに師事。1977年最高栄誉賞付ソリスト・ディプロマを得て同音楽院を卒業、さらにプリ・デクセランスを受賞した。その後ヨーロッパ各地にて演奏活動を行ない、1980年に帰国。以来、古楽器演奏の啓蒙と普及に努め、精力的な演奏活動を展開し、チェンバロ、フォルテピアノ、クラヴィコード奏者及び指揮者として活躍している。1984年古楽器のオーケストラ「ザ・バロックバンド」を結成し、モンテヴェルディ、バッハ、ヘンデル、モーツァルト、ベートーヴェンなどの作品を演奏した。フランス・ブリュッヘン、アンナー・ビルスマ、ジョン・エルウィスをはじめヨーロッパの名手・名歌手たちと多数共演、CDも多数リリースしており、「モーツァルト：フォルテピアノ・デュオ」(ALMレコード)で2006年度レコード・アカデミー賞(器楽曲部門)を受賞した。また、楽譜の校訂や論文の執筆なども手がけ、2000年秋、東京書籍より大部の著書「チェンバロ・フォルテピアノ」(四六判868頁)を刊行(2009年2月に第3刷刊行)、鍵盤楽器の歴史に関する包括的な研究で注目されると共に、同書に準拠したコンサート・シリーズやCDでも大きな反響を呼んだ。最近では、横浜における「山手プロムナード・コンサート」で様々な形態の音楽会を企画するなど、啓蒙的な活動にも積極的に取り組んでいる。第42回(2010年度)「サントリー音楽賞」を受賞。国立音楽大学、桐朋学園大学、東京音楽大学及び上野学園大学講師。

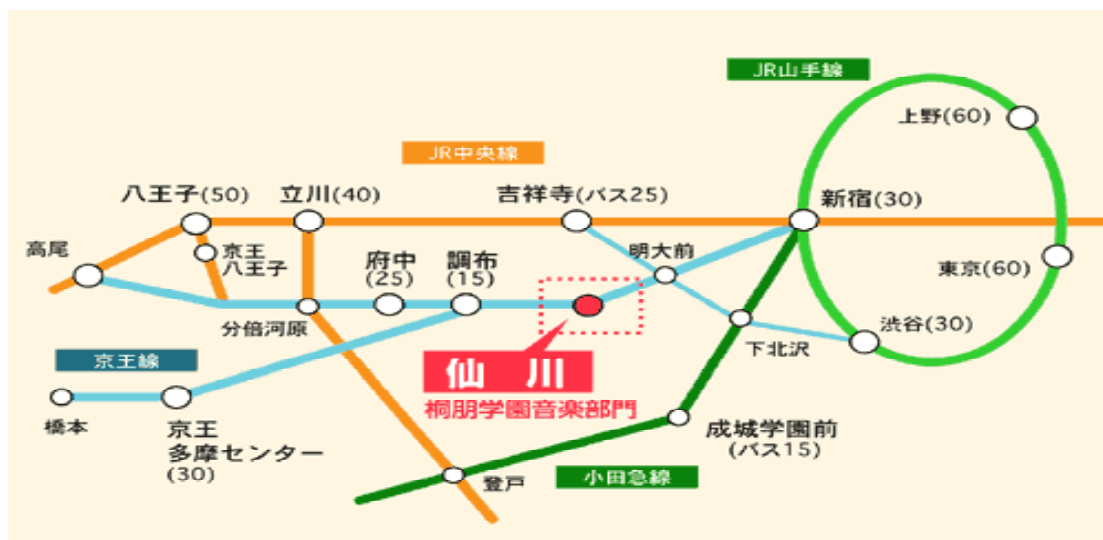
### 玉川裕子 [本学非常勤講師・独語・音楽文化史]

「ピアノのある部屋——市民的教養としての音楽」(2007)、『『ピアノを弾く女性』というジェンダー表象——近代日本の場合』(2008)等、論文多数。また近代日本の洋楽史については、ドイツ語でも執筆している。(Das Mädchen am Klavier. Entstehungsgeschichte eines Klischees in Japan[2002], Vier Musikerinnen. Die Genderstruktur der Musikkultur im modernen Japan ]2010]等) 『楽器と身体』(F. ホフマン)等翻訳も出版。

### 森山智宏 [本学非常勤講師・ソルフェージュ・音楽理論]

桐朋学園大学音楽学部研究科作曲専攻修了。作曲を北爪道夫、飯沼信義、鈴木輝昭、ピアノ・作曲を間宮芳生、ピアノを志村安英の各氏に師事。第68回日本音楽コンクール作曲部門入選、第17回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門(一般の部)第1位。フルーティスト間部令子氏、ピアノデュオ瀬尾久仁&加藤真一郎、東京混声合唱団、L'ENSEMBLE LES TEMPS MODERNES LYON、日本演奏連盟、ピティナ等より委嘱を受け、作品を発表。CDは、FONTECより発売されている(合唱組曲「これが俺達の音楽だ」)。また、作曲と並行し、邦人作曲家によるコンサート「Point de Vue」を、作曲家鈴木輝昭氏と共同企画し開催する他、ピアニストとしても活動している。現在、桐朋女子高等学校音楽科教諭、桐朋学園大学音楽学部講師。(社)日本作曲家協議会会員。作曲家グループ「プレゼンテーション」同人。

## 本学までの交通機関案内図



○京王線「仙川」駅より 徒歩5分

○小田急線「成城学園前」駅発

小田急バス 「狛江営業所」行き 「仙川駅入口」バス停下車 徒歩1分(バスの所要時間約15分)  
 「調布駅南口」行き 「仙川駅入口」バス停下車 徒歩1分(バスの所要時間約15分)

○JR中央線「吉祥寺」駅中央口発

小田急バス 「仙川」行き 「仙川」バス停下車 徒歩6分(バスの所要時間約25分)

○JR中央線「三鷹」駅発

小田急バス 「仙川」行き 「仙川」バス停下車 徒歩6分(バスの所要時間約30分)

受講申し込みおよび問い合わせ先

桐朋学園大学 教務課「教員免許更新講習認定セミナー係」

〒182-8510 東京都調布市若葉町1-41-1

TEL 03(3307)4113 E-mail: kyoshoku@tohomusic.ac.jp